

# 平成26年度 住宅市場動向調査

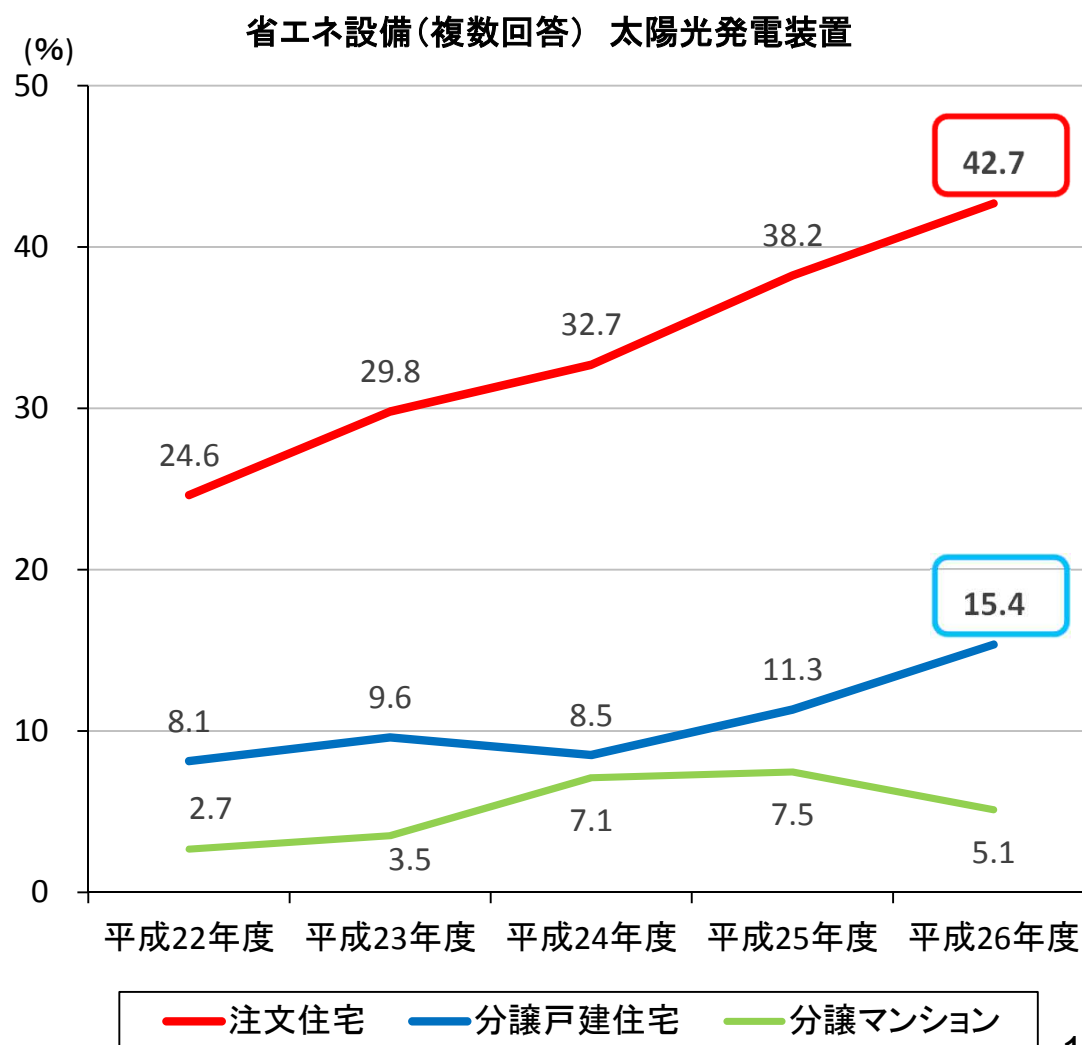
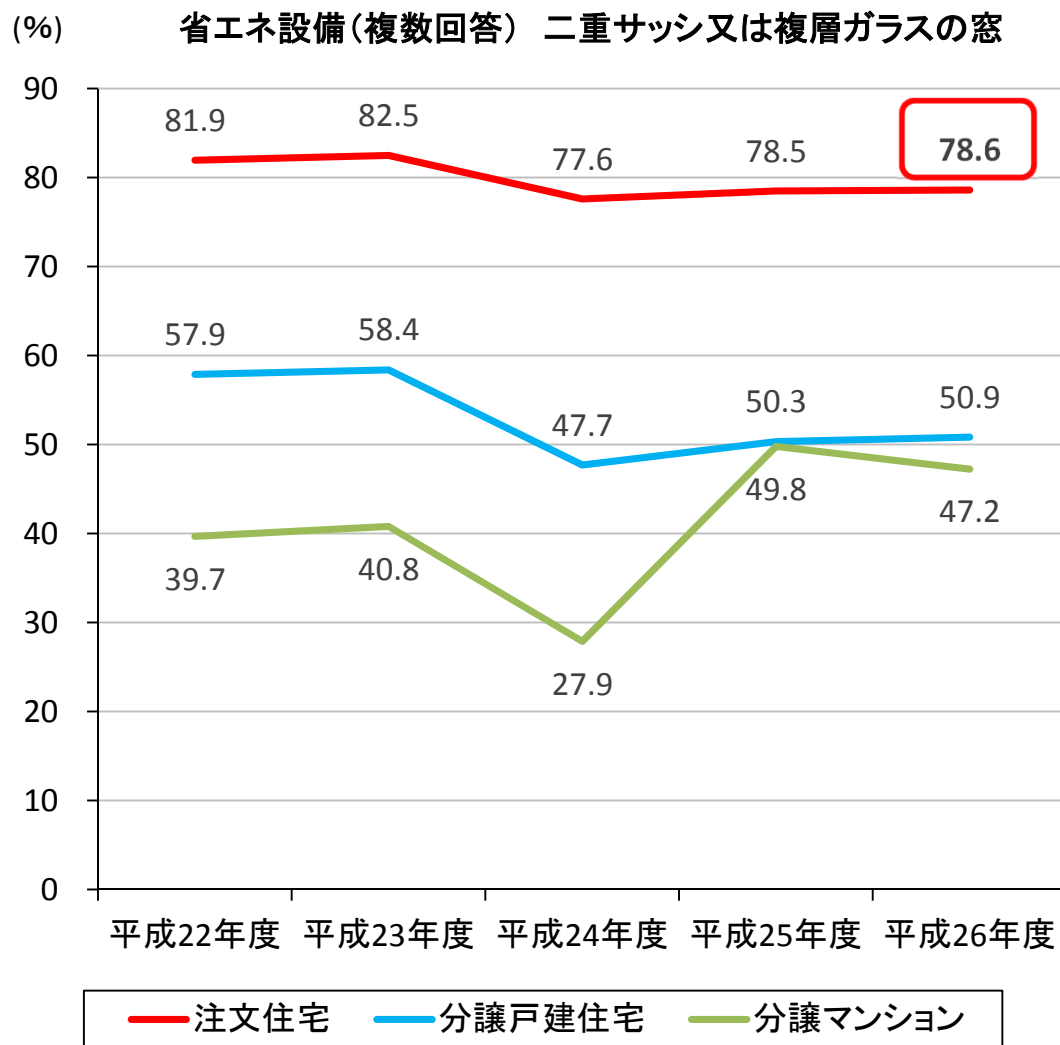
## ～結果の概要(抜粋)～

---

# ①省エネ設備の整備率

住宅取得時における「二重サッシ又は複層ガラスの窓」の整備状況を見ると、注文住宅においては、高い整備率で推移している（H26年度整備率：78.6%）。

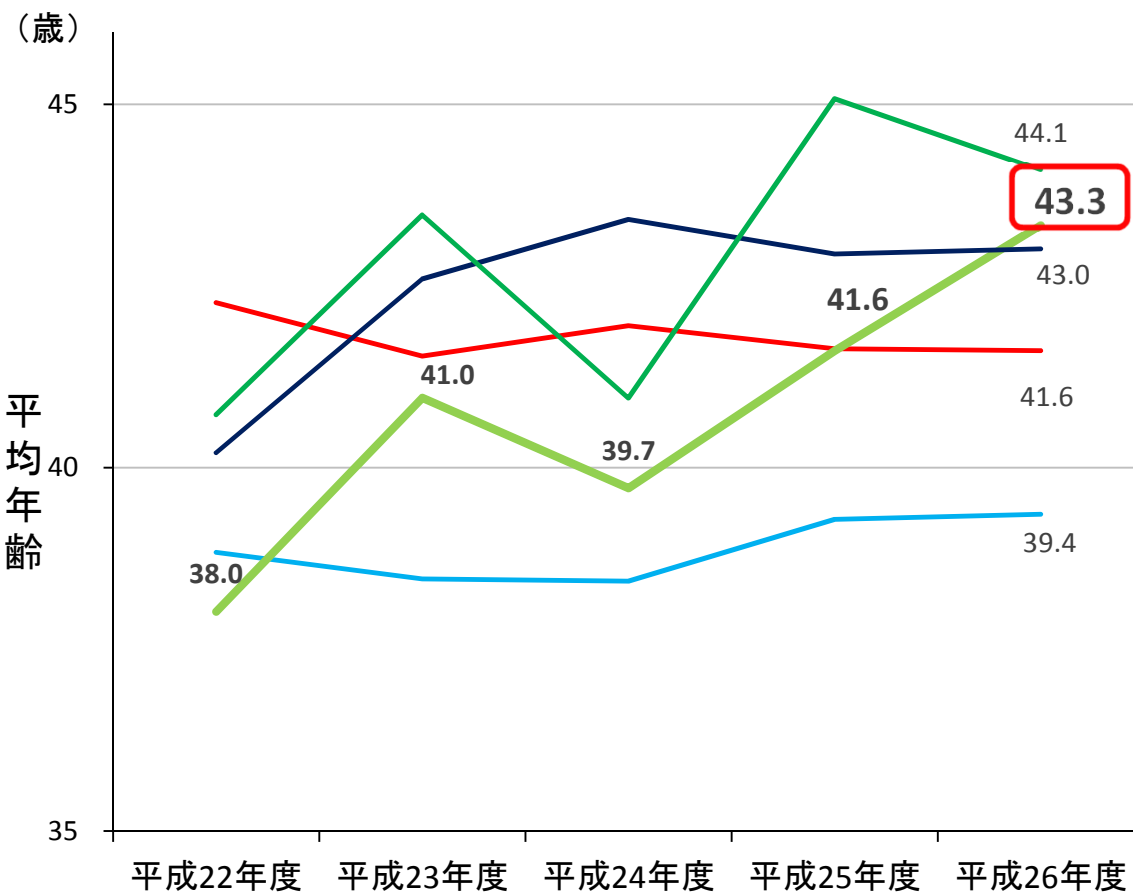
一方、住宅取得時における「太陽光発電装置」の整備状況を見ると、注文住宅において整備率が上昇している（H26年度整備率：42.7%、対前年度比：+4.5ポイント）。また、分譲戸建住宅の整備率においても上昇の傾向が見られる（H26年度整備率：15.4%、前年度比：+4.1ポイント）。



## ②世帯主の年齢

住宅取得時における「世帯主の平均年齢」は、分譲マンションで43.3歳（前年度比+1.7歳）となり、2年連続で上昇した。分譲マンション取得世帯における「世帯主の年代の割合」を見ると、30歳代の割合が平成24年度より2年連続で低下した一方、40歳代の割合が2年連続で上昇している。

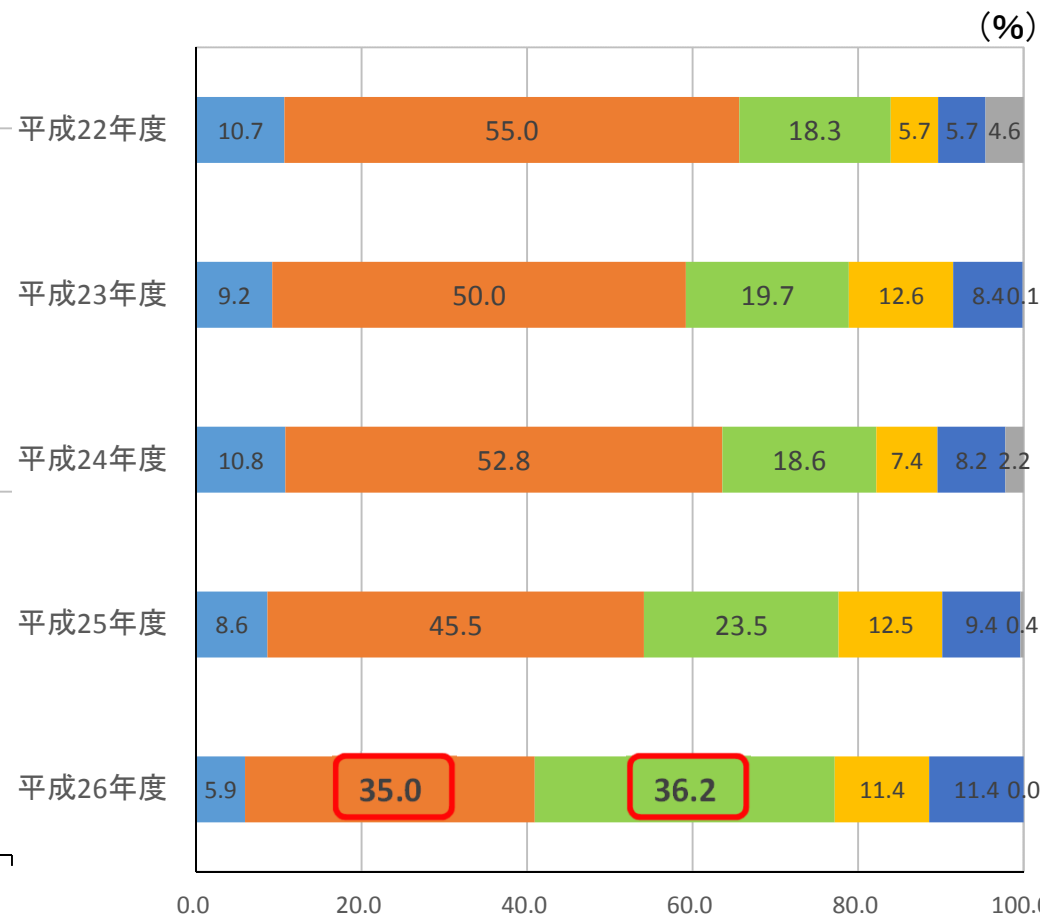
### 世帯主の平均年齢の推移（住宅を取得した住み替え世帯）



— 注文住宅 ※    — 分譲戸建住宅    — 分譲マンション  
— 中古戸建住宅    — 中古マンション

※ 建て替えを除く

### 世帯主の年代の割合＜分譲マンション＞



■ 30歳未満    ■ 30歳代    ■ 40歳代    ■ 50歳代    ■ 60歳代以上    ■ 無回答

※ 報告書本体より掲載